

2022年5月10日(火)

主催：(一般社団法人)障がい児成長支援協会

共催：放課後等デイサービス「やどり木」

通常学級在籍の保護者にも聞いて欲しい!

なぜあの子たちはやらないのか?

どうしたらやるのか?

- ゲームが止められない
- 宿題に取り組まない
- 片付けができない
- 仲間と関われない

(一般社団法人)障がい児成長支援協会 協会長

山内康彦(学校心理士・ガイダンスカウンセラー)



# なぜ私が二次障害を起こさなかったか？

×苦手な事や課題を克服するマイナスを埋める教育では、所詮頑張っても「0」

○得意なことや好きなことを伸ばしていくことで、マイナス面も高まっていく考え方が大切

(例) さかな君・トムクルーズ・ビルゲイツ

○ぼく(山内)にはたくさんの特技がある。

(サッカー・手品・ギター・スキー・船舶免許)

※自信→自己肯定感となっていく

※大きな花1つのタイプや小さな花の花束タイプ

# こんなぼくを受け入れてくれた 親や周りの大人に感謝！！

「やりなさい」ではなく「一緒にやろう！」

○プラレールの片付けができない時に・・・

○魚釣りを誘ってくれたお父さん

○手品を買って教えてくれたお父さん

○母はおやつで友だちをもてなし、いつも笑顔

# こんなぼくを受け入れてくれた 担任や校長先生に感謝！！

○僕を肩車して鬼ごっこしてくれた坪井先生

○大好きな理科の実験をしてくれた木村先生

○ギターを教えてくれた川瀬先生

何よりも、こんなぼくを「受け入れようとしてくれる気持ち」が態度で分かって嬉しかった。

「困った子」は「困っている子」

「困った子だ！」と嘆いている  
のは、大人の勝手な視点

☆実は一番困っているのは

**その子ども本人**

子どもの困り感に寄り添うこと

# 「心理検査の活用」と「応用行動分析」

本来判定に使うためのものではない

☆K-A B C ・ K-A B C 2

☆田中ビネー

☆W I S C III ・ W I S C IV

☆新版K式

☆なぜ顔を上げないか→



個の知的特性等を把握し、その高低やバラツキからその子に合った支援を考える材料にするもの

# 最新の研究成果から(1)

自閉症の子どもたちは相手の気持ちを  
読み取ることができる？

「この大人は、自分を受け入れる気持ち  
がるかどうか？」を試してくる

◎受け入れてくれそう→大すき

▲受け入れる気持ちがない→大嫌い

※本当の専門性とは

「どんな大変な子も受け入れる姿勢！」

## 最新の研究成果から(2)

「10歳の壁」とは何か？

定型発達の子どもは、4～5歳で分かる  
知的に遅れのない自閉症は、10歳！

まわりのことがわかるようになってくる。

※告知をするにはよい時期と考える

→俺は馬鹿だ！ 死んだほうがいい！

※不登校が出てくる原因となる

# 叱られる子は負のスパイラルに陥っている

できない→叱られる→自信がなくなる  
→やらない→叱られる→ふてくされる  
→怒鳴られる→逃げる（反抗する）  
→もっともっと怒鳴られる

◆自己肯定感をなくしていく

「俺はどうせバカだから・・・」

「どうせ 私には できないし・・・」

「はじめから やらない方がいいや」

# ほめることでよいスパイラルに変えていく

できる→ほめられる→自信がつく→やる  
→またほめられる→もっともっとやる  
→どんどんできる→更にほめられる  
→より高い目標に向かって取り組む

## ◆自己肯定感を高めていく

「ぼくは、計算は得意なんだ。」

「調理が好きでコックさんになりたい」

「勉強は苦手だけどやさしい子です」

# 「通常の教育」と「特別支援教育」の違いを一言で表すと……

## 《通常の教育》

できないことへのチャレンジ教育

※今までのできた自信があるからできる。

## 《特別支援教育》

できることからの出発教育

※やらせでもよい。まずは、  
できた経験を沢山積むことで  
自信となり自己肯定感が高まる



# 子どもたちにやらせる方法(1)

行動を起こすときの条件から考える

1. 楽しい おもしろい やってみたい
2. できる わかる 上達する
3. ほめられる 表彰される
4. こわくない 安全

(例) 宿題をやらない理由と  
すすんで取り組ませるためには？

## 子どもたちにやらせる方法(2)

取り組ませ方の工夫

×親や先生が決める

- ・僕が決めたんじゃない

◎本人に選択させる

○選択するとは本人が決めたこと

○メリットとデメリットを事前に説明

×本人に考えさせる

- ・そうなるとは思わなかった
- ・わかっていたらやらなかった

# もぐら叩き教育はダメ パート I

## 幹を見て、本質、原則で指導方法を考える

□ 厳しくしかること・徹底すること

・ 大人だったら警察に捕まること

・ 人に迷惑をかけること

■ ゆるすこと・ある程度見逃すこと

・ 警察に捕まらない 迷惑をかけない

・ 本人だけの問題

# もぐら叩き教育はダメ パートⅡ

## 幹を見て、本質、原則で指導方法を考える

### □絶対にやらせること

- ・ 大人になったらやること

### ■ゆるすこと・ある程度見逃すこと

- ・ 大人になってやらないこと

保護者や指導者からのよくある  
お悩みについて具体例を通して  
お答えします

# ①「片付けが苦手な子」に対する支援方法

なぜ片付けることができないか？

×複数の指示が混在している

1 集める    2 分ける    3 整頓

この3つを分けて順に指導する

具体的には . . . . .

まず「集める」ことから始める

## ②「時間が守れない子」に対する支援方法

なぜ時間を守ることができないか？

×気持ちの切り替えが苦手

口の指示ではなく音楽を活用

園や学校も同じことをしている

具体的には . . . . .

気持ちを切り替える音楽を流す

### ③「友だちがいない子」に対する支援方法

なぜ友だちがいないのか？

×受け入れる子がいない

受け入れてくれる大人を創る

本人より若い周りが悪い！

具体的には . . . . .

まず、大人の友だちを増やす

## ④「ゲームを止めない子」に対する支援方法

なぜゲームを止められないか？

×事前の約束を決めていない

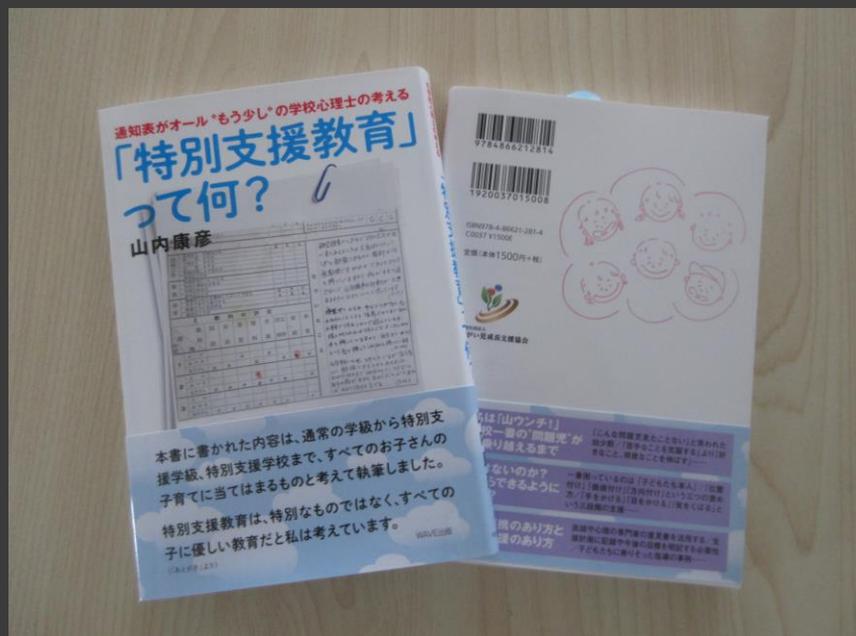
自分が決めたことは守らせる

甘やかせてはいけない

具体的には . . . . .

「ゲーム貯金」という指導法

# 困り感を共感的に受け止め、早期から適切な支援を継続的に行うことが大切です



**特別な支援は、もはや特別なものではありません  
全ての子どもたちにとってやさしい支援なのです**

ご清聴ありがとうございました。

# 4月からFMラジオで毎週放送 「山内先生のランチトーク」

4 / 5 ~ 毎週火曜日 12時 ~ 13時

① 「愛知北FM放送」で検索

② 下へ → 「J C B Aで聴く」をクリック

③ 白い “▶マーク” で再生開始！

特別支援に関わる様々なお話を気軽に聴けます。

# 無料個別相談会を行います

お一人25分

※ZOOM 5月30日(月) 16時から20時まで

※ZOOM 6月4日(土) 18時から20時まで

※直接面接 6月12日(日) 9時半～18時まで

## 次回の講演会予告

7月13日(水)・14(木)18時半～